

平成 23 年度 長野市産業振興審議会 第 2 回 観光振興専門分科会

日 時 平成 23 年 9 月 29 日 (木) 午後 2 時～ 4 時  
場 所 長野市役所 10 階 19 会議室  
出席者 委員 (14 名中 12 名出席、2 名欠席)  
事務局 5 名、コンサル 2 名

**【 質疑応答部分 議事録 】**

**(1) 産業振興ビジョン後期振興計画の基本構想(案)について**

特になし

**(2) 産業振興ビジョン後期振興計画の重点プラン(案)について**

[委員]

重点プランの「再生可能エネルギー産業利活用推進プラン」について、具体的な内容はまだ決まっていないということか。

[市]

具体的には決まっていません。現在、エムウェーブの入込数は少なくなっているのですが、オリンピックを開催したという知名度を活かして、活用される施設にしていきたいと考えています。

[委員]

再生可能エネルギーについては、エムウェーブ内の電力として活用するのか。

[市]

詳細はまだ確定していませんが、発電した電力については売電することを検討しています。

**(3) 新 1200 万人観光交流推進プラン(案)について**

[委員]

「長野」の表記について漢字とひらがなが混在している。これは、それぞれの使い分けを行っているのか。「長野県」と「長野市」で混同されてしまうという状況もあるが。

[市]

「長野」の表記については事務局でも検討しています。統一した方が良いという見解もありますが、逆に表記の方法について、委員の皆様からご意見をお伺いしてもよろしいでしょうか。

[委員]

表記の仕方については難しい問題である。「信州」と「長野市」というような使い分けもあるが、最近は特に若者層に「信州」という呼び名が浸透していない状況もある。

[委員]

感覚的な話になるが、ひらがな表記の「ながの」は親しみやすい里山のイメージがあり、漢字の「長野」は格調高いイメージを受ける。

[委員]

市としてどのイメージを押し出すかによって、記載の仕方は変わるのではないかと。

[委員]

P12 のサブ・キャンペーンネームにある「遠くとも一度は詣れ善光寺」の「詣れ」は、格調高い言葉なので漢字の「長野」が合う。

[市]

「詣れ」については、各所からご指摘をいただいております。宗教的なニュアンスをもつ言葉であるため行政計画に使用することに問題がないか検討中です。

**[委員]**

「ひらがなの方が無難なのではないか」という意見もあるが、この字を用いないと「善光寺に詣でる」という本来の意味が伝わらなくなってしまう。

**[委員]**

「参」は「参勤交代」のようであまり印象が良くない。「詣」は宗教的な哲学的なものを感じる。

**[委員]**

「詣」は「参」よりも信仰心が深い。善光寺では一般的に「善光寺詣で」と言うが、これは詣でる側の言い方で、受け入れる方は「参れ」を使っている。

**[委員]**

ひらがなにしておぼろけにした方が良い。

**[市]**

この字を使用するに当たって、善光寺御詠歌について調べさせていただきました。御詠歌は20番あり、「遠くとも一度は詣れ善光寺」はその7番目に当たります。原典に当たってみると、ひらがなのくずし文字で書かれており、そもそも漢字が使われていません。

**[委員]**

格調を重視すると「詣」だが、ここはひらがなで記載するのが良いのでは。

**[委員]**

個人的にはひらがなが良いのではないかと考える。「詣」では子どもは読めないかもしれない。説明をせずに使用できるものの方が良い。

**[委員]**

ひらがなが良い。

**[委員]**

デザイン的には、ひらがなの方がおさまりが良い。

**[委員]**

「詣」については、ひらがなの方向で良さそうである。では、「長野」「ながの」については如何か。

**[委員]**

使い分け方がしっかりしていれば、両方あって良いのではないか。

**[委員]**

「長野道場」は、漢字の方が良さそうである。「キャンペーン」という言葉が、柔らかい言葉のため、他のものはひらがなでも良いのではないか。

**[市]**

P13にある「びんずる尊者300周年」について「300周年」という記載で良いか、1713年に京都から運ばれたもののため、「招来」と言った方がしっくりくるという意見も出ている。

**[委員]**

「びんずる尊者300周年」は、御開帳前の大きなトピックであるので活用したい。

**[委員]**

「300年を迎える」など限定できない言い方にした方が良い。

**[委員]**

御開帳の際、回向柱は松代から奉納される。しかし、御開帳が始まると善光寺一色になってしまい、回向柱を奉納している松代の影が薄くなってしまふ。「善光寺表参道キャンペーン」に回向柱と松代を伝統行事としてPRするような記載をしていただきたい。

**[市]**

キャンペーン内容については、実行委員会で詳細を詰めていく予定のため、計画書には細部までは記載しない予定です。

回向柱と松代は、大変重要なコンテンツであるため、キャンペーン内容を具体的化する際に使用する資料の中に記載していきたいと考えています。

**[委員]**

前回、御開帳に来た観光客は小布施に行っていた。これはアクセスが良かったためと考えられる。松代には行きにくいいため、あまり観光客が流れなかった。

**[市]**

善光寺・松代などのアクセスについては特出しで記載しています。

**[委員]**

御開帳は、観光客の周遊を促進する大きなチャンスである。キャンペーンを実施する中で周遊を進めていきたい。

**[委員]**

松代でも、街歩きをする観光客が増えている。温泉なども好評である。主には関東方面から観光客が多いようだ。善光寺だけでなく、松代も含めた街歩きの促進をしていただきたい。

**[委員]**

善光寺の中で、松代の案内を充実させたり、スタンプラリーを行うことはできるのか。

**[委員]**

それは可能である。すでにそうした案内は充実させている。

**[市]**

善光寺ではWiFi環境を整備しており、案内所に設置されたタブレット端末等で案内を見ることができるアプリケーションを作成しています。戸隠や松代などの観光案内も組み込みながら進めていただいています。

**[委員]**

それは長野駅でも使えるようになるのか。特に情報を持たずに来訪する人は、駅が全ての基点になる。ボランティアがいて簡単なルート設計をしてくれるなどすると良い。

**[市]**

将来的には長野駅の観光情報センターでも展開したいと考えています。

**[委員]**

長野市内の周遊を促進することは重要。金沢などは参考になる。二次交通が面的に整備されており案内もしっかりしている。街中の移動がしやすい。

**[委員]**

長野市は周遊しにくい。ガイドブックを活用して街歩きを促進していただきたい。

**[委員]**

北陸新幹線金沢開業に向けて、二次交通の充実は必要。御開帳の時にはマイカー交通がパンクするので、駅や大門からの周遊バスが必要である。

**[委員]**

東北新幹線では地元ががんばっており、八戸では観光客が減っていない。八戸と青森は観光客を取り合っているのではなく連携している。

**[委員]**

北陸新幹線金沢開業はこれまで新幹線を利用しなかった人も利用するようになる。長野市としては、チャンスが広がる機会である。

**[市]**

本日は、いろいろとご審議をいただきましてありがとうございました。  
以上を持ちまして、平成23年度第2回観光振興専門分科会を閉じさせていただきたいと思います。  
お疲れ様でした。